

プラズマ・核融合学会誌

第85巻第11号

2009年11月

解 説	高速点火核融合研究の進展－高速点火実証ターゲット，ペタワットレーザー LFEX－ 乗松孝好，長井圭治，岩本晃史，河仲準二，中田芳樹	755
	核融合中性子の挙動を追跡する！！ ～二重微分断面積に関する最新の研究 村田 勲，近藤恵太郎，宮丸広幸，落合謙太郎	762
講 座	流体乱流研究から診たプラズマ乱流データの解析 4. 組織構造の定義とその抽出 辻 義之，田中宏彦，大野哲靖	774
	5. 流体およびプラズマ乱流の普遍性 辻 義之，田中宏彦，大野哲靖	783
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト		793
インフォメーション	 ITER だより ⁽¹⁸⁾ 【会議報告】プラズマ不安定性理論に関する IAEA 主催技術会合／第3回 ITER 国際夏の学校 (IIS- 2009)／第12回核融合装置における周辺プラズマ理論に関する国際会議 (PET12) 【人事公募】	795
Plasma & Fusion Calendar		804
本 会 記 事	 広報委員会報告『小中学生を対象にした科学啓発活動』へのチャレンジ	805

表紙の絵

次世代の極端紫外リソグラフィに最適な軟 X 線光源を生成するために，小さなスズの微小液滴をプレパルスレーザーで瞬間的に加熱した．図はプレパルス照射によって膨脹した微小液滴を，側面方向から 0.5 μs 後に観測した影絵である．人工的に書き加えた微小液滴の影絵は，液滴の初期位置と初期形状を表している．微小液滴の膨脹の様子は，プレパルスレーザーの強度を上げるに従って劇的に変化している．(Shinsuke FUJIOKA *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol.4, 048 (2009) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方に】本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので，本誌に掲載された著作物を複写したい方は，同協会より許諾を受けて複写してください．ただし，日本複写権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による内利用目的の複写はその必要はありません．（社外頒布用の複写は許諾が必要です）権利委託先：学術著作権協会 Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp
なお，著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は，学術著作権協会では扱っていませんので，直接発行団体へご連絡ください．
また，アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は，次の団体に連絡してください，

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC) (222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA Tel 1-978-750-8400; Fax 1-978-646-8600)